

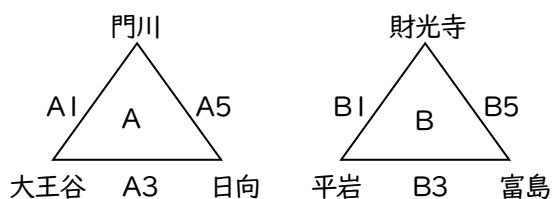
バスケットボール競技の部(秋季)

- 1 期 日 令和 6年 9月 28日(土) ~ 9月 29日(日)
 監 督 会 9月28日(土) 8時00分 9月29日(日) 8時00分
 競 技 開 始 9月28日(土) 8時30分 9月29日(日) 8時30分
- 2 会 場 富島中学校体育館(A、B、Mコート)
- 3 大会役員 部 会 長 横山 博章(富島中学校)
 専 門 部 長 佐藤 聡馬(門川中学校)
 専 門 委 員 各中学校バスケットボール部顧問
 救 護 楯岡 友紀恵(門川中学校)
- 4 参加資格 日向市内及び門川町内の中学校で、中学校長が参加を認める生徒であること。
- 5 出場制限 チーム編成は、監督1名、コーチ2名、引率責任者1名、マネージャー1名、選手15名の計20名以内とする。
 ただし、マネージャーは生徒とする。
- 6 競技方法 9月28日(土) 男子 6校による三角リーグ戦
 女子 4校による総当たり戦
 9月29日(日) 男子 4校(リーグ戦1位2位)による決勝トーナメント
 女子 4校による総当たり戦
- 7 競技規則 ・2024年 日本バスケットボール協会競技規則 並びに 本大会要項による。
 ・8分の4クォーター制で行う。(インターバル2分 ハーフタイム10分)
※予選での延長は行わない。
※熱中症予防の観点から全クォーターで4分が経過し、ボールデッドになった場合、30秒間のメディカルタイムアウトを採用する。(ただし、当日の気温を考慮し、監督会で判断する。)
 ・総当たり戦の順位決定については、次の通りとする。
 【 ① 勝率 ② 直接対決の結果 ③得失点差 】

8 組み合わせ

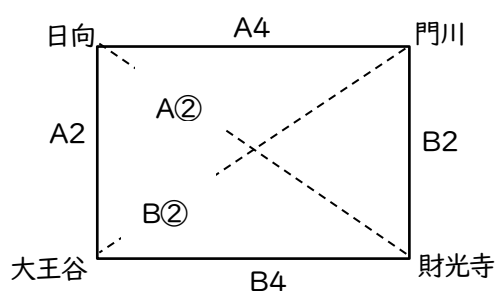
【男子の部】

<予選リーグ(28日)>

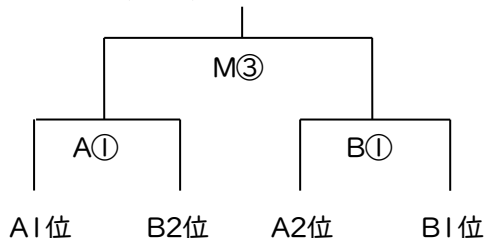


【女子の部】

<総当たり戦(28日、29日)>



<決勝トーナメント(29日)>



※ 数字は28日の試合 囲い数字は29日の試合

- 9 表 彰 第1位の学校に「優勝旗と賞状」、第2位、第3位の学校に「賞状」を授与する。
 【 賞状の表記については、「第1位」、「第2位」、「第3位」と表記する。 】

10 開会式・閉会式

開会式: 今大会は実施しない。

閉会式: 通常通りの形で実施する。

- (1) 開式のことば
- (2) 成績発表
- (3) 表彰
- (4) 部会長講評 (横山 博章)
- (5) 閉会のことば

11 参加申込 9月10日(火) 第2回競技専門部会にて、メンバー表を2部提出すること。

12 その他

- (1) 各チームでゴミはすべて持ち帰って下さい。業者が取りに来る場合も、必ず見届けまで対応して下さい。
雨天時は、昼食会場として校舎を一部解放します。(※場所については、当日連絡します。)
- (2) 会場では上履き、下履きの区別をつけ、各チームで履物の管理をお願いします。
- (3) 駐車場が狭いため、車は可能な限り乗り合わせをお願いします。駐車する場合、他車が出入りできるよう配慮し、緊急車両の通用口の確保にご協力いただき、補助員の指示に従って下さい。
- (4) 観戦は2階ギャラリーからお願いします。試合が行われている該当チームの応援者を優先して下さい。また、小さいお子様の安全管理、競技中のフラッシュ撮影についてはご配慮ください。
- (5) 試合中に撮影した画像、動画のインターネット上へのアップロードはご遠慮ください。
- (6) その他、何かお困りのこと等がございましたら、大会本部(体育館ステージ)までご連絡ください。
※ マンツーマン推進に関する取り扱いについては、宮崎県中学校総合体育大会においても適応されるため、本大会においてはマンツーマンコミッショナーを役員の対応可能な限り配置し、JBAの規定に反するマンツーマンに対しては罰則を実際に適応することとする。

《マンツーマンコミッショナーの試合中の任務等》

- (1) プレイ中は基準規則に基づき、適切なマンツーマンディフェンスが行われているかを見極める。
- (2) 違反行為が確認されたら、該当ベンチに黄色旗を示しコーチや選手の対応を促す。
- (3) (2)に対して改善があった場合には、黄色旗を降ろす。
- (4) タイムアウト、インターバル、ハーフタイムで必要があればコーチに改善を促すよう求める。
- (5) 赤旗があがった場合には、ゲームクロックが止まった際、またはボールコントロールが替わったときには、コミッショナーがブザーを鳴らして知らせる。この際、コミッショナーは審判に赤旗を示す。
- (6) 主審がTO席前に両チームのコーチを集めた際、コミッショナーが違反内容を簡潔に説明する。コーチから当該選手に対しての説明が必要な時には当該選手をTO席の前に招き、コーチが説明する時間を設ける。その後主審は該当チームのコーチに警告を与える。
- (7) 警告とタイムアウトが重なった場合には、審判が警告を与えてからのタイムアウトの計時を始める。テクニカルファウルが宣せられた場合は、タイムアウト終了後にフリースローを行ってからTO席から遠い方のセンターラインのアウトオブバウンズからのスローインで再開する。
- (8) 各時限の終了間際に違反行為があり、赤旗が上がったまま時限が終了した場合は、その警告や罰則は有効。勝敗に関係のない場合、テクニカルファウルは適用しない。
- (9) 2回目の警告があった場合審判員からコーチへテクニカルファウルを宣する。相手チームのコーチが指名した選手に1個のフリースローとTO席から遠い方のセンターラインからのスローインが与えられる。
- (10) 同一チーム2回目の赤旗が上がった場合、コーチは2個目のテクニカルファウルになり退席処分となる。
- (11) 意図的なゾーンや僅差の場面でのスローインに対するオフボールプレイヤーのダブルチーム、4Qや延長時限の終了間際のゾーンプレスに関しては、即座に赤旗を上げて警告することが可能である。
- (12) 相手チームのディフェンスに対してのベンチからのアピールには対応しない。